



Sunday School クラスルーム

日本キリスト教団 荻窪清水教会 日曜学校だより No.39 2023. 9. 24 発行

うれしいな♡「恵みのうつわ」♡

コリントの信徒への手紙二 4章7—15 節

ごきげんよう!

牧師 梅津 裕美

みなさんはお気に入りの器(うつわ)がありますか? そういえば「マイ・カップ」という言葉がありますが、自分お決まりの食器があるのではないのでしょうか? わたしにもお気に入りのマグカップがあります。牧師さんのお仕事を始めた時に、記念に一人の姉妹から贈られたぶどう柄を手書きしたマグカップです。お水も、麦茶も、ほうじ茶も、緑茶も、私はいつもこのカップで飲みます。長く使い続けて、ちょっぴり欠けた所がありますが、捨てられずに毎日使っています。その食器に描かれたぶどう模様を見る度にイエスさまにしっかりとつながっている聖書の言葉を思い出しています。

ところで神さまにもお気に入りの器があるみたいです。それは、立派なぶどう模様が手書きされているものではなく、土で造られた器です。みなさんが幼い頃に《泥んこ遊び》で造ったような、粘土荒削りの…そんな何の取柄もない器、神さまはその土の器が私たち一人一人だと言われます。ところが神さまはその何の取柄もない器が捨てられず、大好きで、忘れられず…いつもいつも心にかけて、その器の中に神さまの恵みを注いでくださるのです。毎週日曜日の礼拝の前に、奉仕する人々とお祈りを合わせます。その時に、決まって祈る言葉があります。「これからの礼拝で奉仕する一人一人を神さまの恵みの器として祝福してください」と…。

礼拝の御用に用いられるには十分な力も知恵もない一人一人を、上からの恵みによって強め励まして礼拝の奉仕に用いてくださいと言う願いです。

自分が弱いことを知る人は、そのあなたを愛する器として心にかけてくださる神さまがおられて、そのあなたに神さまの恵みが注がれることを思い出してくださいね。



堀内長老からのメッセージ

来年3月に発行の『荻窪清水教会60年史』では、この10年間に教会員になられた皆さんを紹介しますが、愛唱している讃美歌についてうかがいました。愛唱讃美歌は2014年に発行した『荻窪清水教会50年史』でものせていますが、特に多くの方があげた讃美歌が「いつくしみ深い」(493番)です。こどもさんびかの歌集にもものっており(130番)、日曜学校の礼拝でもよく歌いました。現在の歌詞ではなく、以前の「いつくしみふかき」の歌詞の方になじんでいて、暗唱している人も多いかと思います。1節では「重荷のすべてを み手にゆだねよ」と歌いますが、この歌詞は旧約聖書詩編55編23節の「あなたの重荷を主にゆだねよ 主はあなたを支えてくださる」によるものです。そして2節では「いつくしみ深い 友なるイエスは われらの弱さを とともに負われる。 なげき悲しみを ゆだねていのり つねにはげましを 受けるうれしさ。」と歌います。この讃美歌のテーマは「祈り」です。私たちを心からの祈りに導いてくれるこの讃美歌は、これからも多くの人に愛唱されることと思います。

